



《将来に向けた取組方針》

味の素グループは以下の5箇条からなる環境に関するグループポリシーを設定し、その一環として生物多様性にも取り組んでいます。

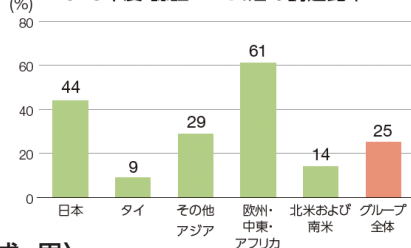
1. 私たちは、製品ライフサイクル全体から排出される温室効果ガスを地球が吸収可能な範囲に抑え、低炭素社会へ貢献します。
2. 私たちは、次世代のための食資源の確保と生態系・生物多様性を含む自然環境の保全、水資源の保全に貢献します。

3. 私たちは、製品ライフサイクル全体から排出される廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を適切に行い、資源を活かしきる取り組みを進めます。
4. 私たちは、関係法令等を順守します。
5. 私たちは、環境マネジメントシステムの考え方を基本として、環境トラブルの防止を図るとともに、環境改善の取り組みを進めます。

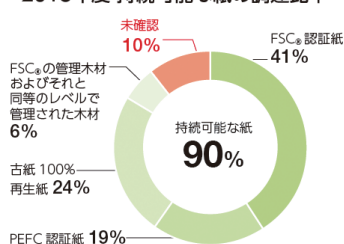
《具体的取組み事例》

味の素グループは気候変動、生物多様性、人権問題等と大きく関わる森林減少の抑制が重要と考えており、パーム油や紙等の農林資源に関する取り組みを強化しています。2015年頃からパーム油と紙については持続可能な調達に着手し、これらにおいて2020年までに持続可能な調達100%を目標としています。

2018年度 認証パーム油の調達比率



2018年度 持続可能な紙の調達比率



《成果》

2020年度までに「100%持続可能なパーム油と紙の調達」の目標に対し、2018年度の認証パーム油使用率および容器包装用紙における持続可能な紙の使用率は、グループ全体で各々25%、90%でした。

《今後の課題等》

- ・紙に関して、保護価値の高い地域の森林破壊に関与せず、且つ法令および国際的な人権基準を守り、適切な手続きで生産している紙[※]の調達推進；※FSC等の認証紙、再生紙、FSC管理木材由来の紙、PEFC認証紙
- ・パーム油に関してはRSPO認証(B&C以外)及び搾油業者までのトレサビリティ確認がとれたパーム油の調達推進。
- ・事業や地球環境等の状況の変化に即して、重点的に取り組む重要原材料は毎年見直しを行う。

《社会に向けたメッセージ》

味の素グループは、事業活動を通じた環境影響の低減を目指し、継続した改善に取り組んでいます。生物多様性の取り組みもその一つです。一人ひとりの意志ある行動によって、持続可能な「循環型社会」の実現に貢献していきます。